

今回のテーマ

地域崩壊、8割「現実味」

(5月10日付四国新聞より)

出前教室 中学校訪問



- ①地域が「崩壊」すると、身の回りでどんな問題が起きるでしょう。
- ②香川で暮らす人を増やすには、どんな地域づくりを進めればよいでしょう。
- ③各自治体を取り組む人口増対策などを調べてみましょう。

大手前高松中2年生が話し合いました

地でも地域崩壊の連鎖が起きるのでは」との指摘がありました。

香川で暮らす人を増やすには、どんな地域づくりが必要かの議論では「事故や犯罪の少ない安全なまちづくり」「若い人が集まる工夫を」などのアイデアを発表。ネットによるPRを求める声も上がりました。

授業では東京一極集中にも触れ「グローバル社会が進めば、東京も地方と同じ問題を抱えるかもしれない」ことを学びました。



将来の「地域崩壊」を防ぐには。人口減少に対する県内市町の危機感が強まる中、2年生30人が課題や対策を話し合いました。

人口減少が進むと、身の回りでどんな問題が起こるのでしょうか。生徒たちは5班に分かれて自分の考えを発表した後、意見を交わしました。「お年寄りを支える人が少なくなる」「土地が放置されたり、伝統を受け継ぐ人がいなくなる」などのほか、「各



みんなで考えよう

- ①あなたにとって母校はどんな存在でしょう。
- ②地域にとって「学校」はどんな存在なのか調べてみましょう。
- ③学校の魅力を地域に発信する方法を考えましょう。

17日付は豊島中を訪問



母校への思い 聖火でつなぐ

来春閉校の土庄小児童

来春の学校統合で14年2年の長い歴史を閉じる土庄町の土庄小学校で「運動会聖火リレー」が行われ、児童63人が前島地区の約12・4キロのコースで聖火をつないだ。聖火は、18日の運動会の開会式で聖火台に点火する。

土庄町では来春、豊島を除く土庄、湖崎、北浦、四海の4小学校が統合され、新たなスタートを切る。

聖火リレーは心に残る行事にするとともに、閉校に向けた活動に児童や保護者、地域住民、教職員が心をつなげて取り組んでいけるよう初めて挑戦した。トーチを手に

した第1走者の3人が「ありがとう 土庄小」などと書いた黄色のたすきを胸に掛け、頭にオリブの冠をかぶって学校をスタートした。

(5月11日付四国新聞より)

